

おくたま 町議会だより



146号

平成20年8月5日
発行 奥多摩町議会
電話 (0428)83-2111

第2回定例町議会

第2回定例会は、6月10日から6月13日までの、会期4日間にわたり開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも原案のとおり承認、可決、並びに同意しました。

専決処分

平成19年度一般会計補正予算（第6号）
町税賦課徴収条例の一部を改正する条例
国民健康保険税条例の一部を改正する条例

条例等

事務手数料条例の一部を改正する条例
町営住宅使用条例の一部を改正する条例
公営住宅使用条例の一部を改正する条例

補正予算

一般会計（第1号）
国民健康保険病院事業会計（第1号）
水道事業会計（第1号）
工事・物品契約

人事

副町長
副町長、村木義雄氏の任期満了に伴い、同氏を再度選任することに同意しました。

・村木義雄氏
（氷川1478番地1）
固定資産評価審査委員会委員
固定資産評価審査委員会委員
堀口榮二氏、並びに河村尚茂氏の任期満了に伴い、次の方々を選任することに同意しました。

・堀口榮二氏（再任）
（海沢772番地）
・島崎軍治氏（新任）
（留浦617番地）

陳情の取り扱い

不採択としたもの

森林活動拠点施設整備工事請負契約について
氷川小学校校体育館耐震等改修工事請負契約について
奥多摩処理区下水道管渠建設工事その6請負契約について
奥多摩処理区下水道管渠建設工事その7請負契約について
消防ポンプ自動車購入契約について

「高齢者に負担増と差別医療を強いる後期高齢者医療制度の廃止・撤回を求める国への意見書を提出する」陳情書

一 般 質 問

森林セラピー、道路整備、長寿医療制度等について質す！

20年6月議会では、13日の第2日に6名の議員が質問を行いました。(通告順)

鈴木賢一議員

町職員にセラピー事業のインストラクター留学を

（答）内外の先進地への職員の派遣や、インストラクター経験者の確保等も視野に入れ、セラピー事業の充実に努めていく

鈴木 町職員を先進国（ドイツ等）に研修派遣し、真のインストラクターを育て、当町のセラピー基地を世界に誇れる確固としたものにしてもらいたい。

町長 来年4月のグランドオーブン以降の利用者の方へのセラピーメニューの作成や提供、将来的な森林セラピー事業の発展等を考えると、優秀な専門職員の確保が非常に大切なことと考えている。町にも町職員の海外・国内研修を行うための実施要綱が定められており、この制度を利用して内外の先進地へ職員を派遣するなど、町の森林セ

ラピー事業の中心となる職員を育成することが必要である。また、先進地でセラピー事業に従事していた方や、インストラクターとして研修を終了した方の確保等も視野に入れ、今後セラピー事業の充実に努めていく。

前田悦男議員

国道411号の整備と歩道の拡幅と延長について

（答）毎年実施している西多摩建設事務所との行政連絡会で、特に柵沢から氷川トンネル間の歩道を含めた道路整備を強く要望していく

前田 国道幅員の狭い箇所へ歩道を設置するよう要望する。また、将門地域から日向地域付近まで特に危険な箇所が多いが、具体的な計画は、張り出し歩道の下に、下水道管等の各種インフラ設備を通すことの実現の

可能性を問う。

町長 町内の国道は東京都西多摩建設事務所が維持・管理しているが、歩道設置基準に基づき事業計画する場合、歩道幅員を2.5メートル確保しなければならず、用地確保が非常に困難であり、通学路や弱者対応を優先的に計画しているが、時間がかかるとのことである。駅前や学校付近には歩道整備が一部実施されているが、通行者の少ない道路では未整備となっているのが現状である。

具体的な計画については、柵沢橋から将門方面への200メートルの区間が、既に測量と用地境界確認まで終了しているが、用地の点で一時中断している。新氷川トンネルから青梅方面への歩道延長も、約30メートル計画されており、平成21年度には人道橋の建設も含め、日向地区の子どもたちやお年寄りが安全に国道を横断できるよう、整備に向け事業を進めている。都の回答では鉄骨桁の歩道整

備は、維持・管理及び安全管理上の問題で施工実績はなく、用地確保の問題もあり、下水道管等との併用計画は困難で、国道の中へ道路占用により敷設する方法が、最も安全かつ早く整備できることである。議員のご質問は、ご提言として今後参考にさせていただきたい。

河村町長の二期目の取り組みと
意気込みについて

（答）小さな町ではあるけれども、きらりと光った町にしていこうという思いで、二期目に向かって全力投球していく

前田 二期目の取り組みについて、議会の場でその意気込みについて聞かせていただきたい。

町長 住民皆様にご検討いただいた答申を基に、議会の中でご決定をいただいた、町の基本的な指針である第四期長期総合計画の実現に向け、今後も行政を進めていきたいと考えている。

その過程でいちばん大切なのは、町が進める事業について、多くの人に信頼を持つてご理解をいただくということであり、そのためには事業の細かい部分についても住民の方々と対話をし、その内容について説明をしていきたいと思っている。

また、当町が今後いかにどう生きるかという部分については、森林セラピー事業が非常に適切有効であると考えている。この事業は住民との協働が重要であり、様々な問題を事業を通して協議し、お互いに努力していくことが含まれており、この問題をいろいろの意味で活用しながら、今後の町政を進めていきたい。

さらに、町の行財政運営の問題は大きな課題であり、特に東京都の支出金は貴重な財源であり、都営水道一元化の問題を含め、都との信頼関係を保ちながら財源対策をしていくとともに、少子化対策等の事業を粛々と、かつ誇りを持って進めていくことが大切であると思っている。

島崎利雄議員

後期高齢者医療制度の廃止、中止と制度の見直しを

（答）後期高齢者医療制度（長寿医療制度）は高齢者の方々が安心して医療を受けられる制度で、政府与党は今後もよりよい制度の構築に向け見直しをしていくという姿勢であり、これからも住民皆様とともにこの制度を支えていきたいと考えている

島崎 低所得者の減免制度三段階、特別徴収、身障者65歳以上の方等、人数は。保険料を年金天引され、その反応、批判、その対応、件数は。町として独自軽減対策の取り組みは。町行政として国政、都政、広域連合会等への財政支援要望等の申し入れは。

町長 保険料仮算定時における均等割の軽減状況は、7割を軽減する方が702人、5割が40人、

2割が115人、合計で857人となっている。特別徴収の対象者は837人、65歳以上で障がい認定を受け長寿医療制度に移行した方は41人となっている。

保険料を年金から特別徴収させていただく837名の方には、4月初旬に保険料の額の決定と徴収方法について通知し、4月15日に1回目の徴収をさせていただいた。保険料に対する問い合わせが80件、制度や手続き等に関する問い合わせが220件あったが、概ね皆様にご理解をいただき、順調に経過しているとの報告を受けている。

町としての独自軽減対策は特にないが、東京都広域連合では審査支払手数料負担金等を、2年間の時限措置ではあるが、保険料から除き各区市町村の負担としたため、他府県に比べれば低い保険料となっている。

様々な財政支援について、毎年東京都へ予算編成に対する要望を行っている。今年度は、多摩島しょ市町村で構成する東京都市町村後期高齢者医療制度協

議会から、特別養護老人ホーム等を多く抱えている市町村への財政援助を、都へ要望していく予定である。

今後の町政の取り組みについて

（答）第四期長期総合計画、行政改革大綱を指針とし、堅実な行財政運営を図っていく。山のふるさと村事件については、裁判を通じ責任の所在を明らかにしていきたい

島崎 これから4年間の重点施策としての方針と具体化は。山のふるさと村事件の全容解明を。

ア、今後の町政の対応、取組み等の方針は。

イ、住民に今まで2年間の経過など町の見解など明らかにし情報公開すべきだが。

ウ、全容解明にむけた対応等の取り組みは、現在の状況で解明できるのか。

町長 道路や下水道の整備、

都営水道の一元化等、生活の豊かさや利便性の向上に努めることは勿論であるが、第四期長期総合計画を指針とし、「生涯健康で自立してともに生きる奥多摩町」の実現を目指していく。

また、森林を町の活性化に総合的に活かすため森林セラピー事業を推進しているが、来年のグランドオープンに向け、様々な立場の方々と協働し、魅力ある森林セラピー基地づくりを行っていく。

町の財政運営については、平成17年4月からの5カ年計画である奥多摩町行政改革大綱に沿って、「ひとの改革」、「しごとの改革」、「しくみの改革」の三つの改革を柱として、身の丈にあった堅実な財政運営を図っていく。

ア、ウ、町の調査委員会では調査権限の問題を含め限界があることから、民事訴訟として「損害賠償等請求事件」の裁判を提起しており、この裁判を通じ責任の所在を明らかにしていきたいと考えている。

イ、調査の結果や経過、訴えの提起、今後の対応等、広報紙やホームページで随時お知らせしてきた。今後も随時、経過等についてお知らせしていく考えである。

増田ひさ子議員

「出前講座」サービス制度の導入で協働の町づくりを

（答）第四期長期総合計画に位置づけている「協働の増進」や、「生涯学習の推進」によるまちづくりに関与するものと考えているので、今後実施について研究していく

増田 世界情勢や町の様々な事業等について、自治会や地域のグループが、生涯学習も兼ねた出前講座として、町の担当者から今まで以上に説明を受けられれば、町づくりに一歩でも近づけると思うが、町長の考えを問

う。

町長 出前講座とは、一般的に行政の職員が住民グループが主催する学習会等の求めに応じて出かけていき、所掌事務に関する情報を提供（講義）する事業である。現在、西多摩地域では青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町の4市1町が、生涯学習の一環として各々の名称で出前講座を実施している。

当町では出前講座という名称は用いてはいないが、女性団体や中学校から、特定の内容の説明のために職員の派遣依頼があり、団体の用意した会場や学校に向き説明をした経緯がある。出前講座は、第四期長期総合計画に位置づけている「協働の増進」や、「生涯学習の推進」によるまちづくりに役立つものと考えているので、今後実施について研究していく。

原島伸行議員

後期高齢者医療制度導入に対する町の現状と今後の取り組みについて

（答）長寿医療制度の様々な問題について、広域連合を中心に、東京都全体の区市町村で取組み、かつ都や国に向かって制度の改善を求めていきたい

原島 暮らしと健康を守るべく、地域社会、地域医療の再構築を図らなければならぬと思うが、保険料も含めた町の現状と、今後の対応、取り組みは。

町長 通称長寿医療制度は、現時点でもいろいろな意味で議論がなされており、また一部手直しをするという方向で進んでいるが、国民皆保険という基本は堅持していかねばならないと考えている。また、従来の国民健康保険や老人保健制度では、高齢者の割合が多い区市町村に

保険料負担が大きくなるという状況が、都道府県ごとに互助でその経費を賄っていくということとで、その考え方は当町にとつては歓迎すべきことであり、全体的な制度としては間違っていないと思う。しかし、法律ができる、その法律に基づき住民の医療、安全・安心を図っていくのが自治体の仕事であり、国においてはいろいろな問題点ができるだけ早く手当をしてもらいたいと考えている。保険料の問題も含め、長寿医療制度の様々な問題について、制度の運営主体である東京都広域連合を中心に、東京都全体の区市町村で取組み、かつ都や国に向かって制度の改善を求めていきたいと強く感じている。

師岡伸公議員

奥多摩町における「ふるさと納税」の考え方について

.....

（答）過疎地域には大変有利な制度であり、早速普及の検討に入り、「奥多摩をふるさと」と思っていたらいている方々に対して、大いに普及、宣伝を展開していきたい

師岡 全国の地方自治体で、その地域の特性を活かした施策、地域活性化の基礎として、ふるさと納税を推奨、普及に努めているが、当町の現状、現時点での考えを問う。

町長 ふるさと納税制度は、本年4月30日の地方税法改正により制定されたもので、納税者が出身地や応援したい自治体に5千円以上の寄付をすると、額に応じて居住地の住民税が1割を限度に軽減されるというものである。

今や、雇用が集中する大都市に人口や産業、それに伴う税金が集中することは避けられない状況にあり、過疎地域にとつては少ない税財源でいかに効率的に行政運営をしていくかが大き

な課題となっている。今回制定されたふるさと納税制度は、当町のような過疎地域には大変有利な制度であり、早速普及の検討に入り、町ホームページやパンフレット、チラシ等を作成し、「奥多摩をふるさと」と思っていたらいている方々に対して、大いに普及、宣伝を展開していきたい。ご寄付をいただいたお金の使い道については、ふるさとを思いご寄付をいただく訳であり、少子高齢化や子育て支援、教育の充実等、住民の身近な施策に活用していきたいと考えている。

町議会だよりの一般質問欄では、紙面の制約から、質問に対する最初の町長の答弁までを掲載しています。この後、再質問が行われ、更に踏み込んだ内容の質疑が行われています。出来上がりは後日になります。全部の質疑内容が掲載された会議録を図書館に置きますので、ご覧ください。

議会 日誌

5 月

- 14日 東京都町村議会議長会役員会・臨時総会・議員講演会
- 19日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会（以下「三水協」）総会
- 20日 青梅警察懇話会定例会
- 22日 中学校副校長歓送迎会
- 23日 老人クラブ連合会総会
- 24日 古里保育園新園舎落成式
- 27日 青梅商工会議所通常総会
- 29日 東京都三多摩地区消防運営協議会通常総会
- 30日 青梅交通安全協会定期総会
奥多摩観光協会定期総会
- 31日 おくたま海沢ふれあい農園運営委員会総会
- 6 月
- 4日 議会運営委員会
春の交通功労者等表彰式
- 7日 正副消防団長OB会設立総会
- 10日 第2回定例会（第1日）
経済厚生常任委員会
- 13日 第2回定例会（第2日）
- 14日 遺族会古里支部戦没者慰霊法要
- 15日 ファイアフェスタ・イン・ヘリ

ポータル

- 21日 郷土芸能保存団体協議会定期総会
- 23日～25日
会派視察研修（北海道壮瞥町、八雲町・新政会）
- 28日 奥多摩木村奨学会合同会議
- 30日～7月1日
東京都町村議会議長会行政視察（大分県九重町）
- 7 月
- 1日～2日
会派視察研修（新潟県長岡市・ふるさと未来・暁会・風）
- 2日 西多摩地区議長会定例会
- 3日 奥多摩・檜原間林道鋸山線改修
都道編入促進協議会定期総会
- 4日 奥多摩消防署山岳救助隊活動
効果確認
- 10日～11日
全国森林環境税創設促進議員連盟役員会・定期総会（埼玉県秩父市）
- 11日 首都圏中央連絡道路建設促進協議会総会
- 15日 町議会だより編集委員会
- 17日 国道139号松姫トンネル建設促進連絡協議会総会

- 18日 西多摩広域行政圏協議会審議会
- 22日～23日
西多摩郡町村議会議長会行政視察（福井県越前町）

- 23日 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会、多摩都市モノレール等建設促進協議会合同総会
- 28日 三水協第3委員会
公害対策審議会
- 29日 東京都市町村議会議員公務災害補償等組合臨時会
- 30日 西多摩郡町村議会議員親睦会
- 31日 三水協第1委員会

議会改革検討委員会の設置
昨年11月発行の町議会だより143号でお知らせしましたが、12月からの新体制となり、改めて議会改革検討委員会（委員長・前田副議長）を設置しました。今後は次の内容等について検討を行い、一定の方向性を示したいと考えています。

議員定数について
議会運営について
議会の経費について

編集後記



時の流れの早さには驚きますが、5月18日には奥多摩町長選挙がありました。我々も住みよい町づくりに頑張っていきたいと思えます。今年は何年にもない適度な雨に恵まれています。地球温暖化の影響に触れざるを得ない、5月24日の中国西部を襲った四川大地震、6月14日朝には東北地方で震度6強を記録した岩手・宮城内陸地震は、東日本の広範囲を揺らし、山の斜面をまるごと崩すほどの破壊力には、内陸地震の恐ろしさを改めて印象づけられました。このような状況は人ごとではありません。当町のような山間地域では落石で道路が寸断されたり、集落が点在しており孤立集落の発生が考えられます。どこに住んでいても、建物の耐震化など災害対策の基本を再点検しておきましょう。

（竹内 和男）

清水 典子 島崎 利雄
前田 悦男 原島 伸行